



2022年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル  
 代表者名 代表取締役社長 田中 正文  
 (コード番号 3787 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子  
 (TEL. 03-3492-3633)

## 2022年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2022年3月期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	560	△139	△140	△143	△55.15
今回修正予想 (B)	569	△74	△68	△70	△27.36
増減高 (B - A)	9	65	72	73	—
増減率 (%)	1.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	416	△250	△242	△245	△94.80

#### 2. 修正の理由

前回発表の予想は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながらの経済活動の再開が順調に進み、第3四半期から各種経済活動の回復度合いが徐々に加速していくという前提条件の下、ソリューション事業売上とロイヤルティの増加を見込んだものでした。

売上高は、ソリューション事業で装置物販売が振るわず計画未達 (未達額 76 百万円) となった上、新型コロナウイルス感染症変異株による感染再拡大や部材調達難などで顧客製品の出荷の低迷・停止が続いたため、ライセンス事業でロイヤルティがソフトウェア、ハードウェア両部門ともに計画値を下回ったものの、第4四半期にハードウェア IP のライセンス案件が数件獲得できた結果、ほぼ計画通りとなりました。なお、利益面では、カスタマイズ案件の減少等による人件費や外注費の減少 (減少額 41 百万円) などにより、赤字幅は縮小となりました。

なお、2023年3月期の業績予想につきましては、5月13日発表予定の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕 (非連結)」でお知らせします。

以上

(注) 上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。